

議員提出議案

意見書

意見書は、地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のことです。

今定例会には、3件の意見書が提出され、次の2件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。

男女別学の埼玉県立高等学校において生徒の意見を尊重した方針決定を求める意見書

現在埼玉県には、12校の男女別学の県立高校がある。埼玉県男女共同参画苦情処理委員は、「埼玉県立高校において、共学化が早期に実現されるべきである」との趣旨の勧告を埼玉県教育委員会に対して行い、「是正その他の措置」についての報告を求めた。

埼玉県教育委員会は、勧告を受けて、中学生及び高校生とその保護者に対するアンケートを実施した。アンケート

の結果、「共学化した方がよい」と回答したのは中学生で18・7%、高校生で7・8%、「共学化しない方がよい」と回答したのは中学生で19・3%、高校生で57・2%、「どちらでもよい」と回答したのは中学生で56・2%、高校生で33・2%となった。アンケート結果からも、今後さらに慎重な議論が求められることは明らかである。

よって本市議会は、在校生及び進学を目指す生徒の気持ちを尊重し、男女別学の埼玉県立高等学校において当事者の意見に十分配慮した方針決定を行うことを求める。

— 反対討論 —

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

主張が曖昧で、何を求めているのか一読してわからない。別学は少なくとも20年以上前から問題視され、様々な人の意見を尊重してきた結果今なお12校の別学が残っている。ジェンダー平等に向かう時代。別学は戦前の男らしさ・女らしさを求める教育の名残。教育の専門家から、憲法に定める教育の機会均等に違反と指摘。伝統校の文化歴史を敬う気持ち、別学ならではの楽しさは十分理解している。

平和市民クラブ
岩田 京子 議員
県は平成14年に続く再勧告を受け、共学化を主体的に推進する方向性を示した。大規模アンケートや様々な意見聴取により慎重に進めている。別学・共学について立場を曖昧にしたまま、県に抽象的な要望だけを伝えるのではなく、議会として明確な論点と責任ある姿勢を示すべきだ。このような曖昧な意見書には賛成できない。

— 賛成討論 —

未来会議よしかわ

戸田 馨 議員

本意見書は方針決定にあたり当事者の意見を十分尊重し丁寧な議論を求めるという極めてシンプルな内容。反対討論にあつた男女別学か共学かの考えを求めたり、ジェンダー平等や多様性について論じられているものではない。全てにおいて意見を聞くことは政策決定の大前提。反対討論にあつた根拠を是としてしまうと全ての政策決定が進まない。

非核三原則の堅持を求める意見書

自由民主党は25年11月20日、「安保3文書」改定に向けた議論を開始し、その中で非核三原則を見直す可能性があると報じられています。

非核三原則は、世界で唯一の戦争被爆国としての国際公約でもあり、国会で全会一致決議された国是です。25年の防衛白書でも「非核三原則を国是と

して堅持する」と書かれ、歴代首相が「いかなる政府によっても守られなければならない」と国会で答弁してきました。被爆者の「核兵器をなくしてほしい」という運動が世界を動かし、21年1月22日に発効した「核兵器禁止条約」に署名が95か国・地域に及んでいます。核兵器の非人道性を訴え続けた日本原水爆被害者団体協議会は一昨年、ノーベル平和賞を受賞しました。核兵器のない世界を実現するために動いている中で、非核三原則を見直す動きは世界の流れに逆行するものです。

吉川市平和都市宣言の「わが国は、世界唯一の被爆国として、平和憲法の精神にそって非核三原則が遵守されることを強く希望しあらゆる国の核兵器が速やかに廃絶され、文字どおり世界の恒久平和が実現されることを強く願うものである。」という宣言文のつとめ、政府においては、非核三原則の堅持を強く求めます。